

安保破棄ニュース

No. 502
2019. 2. 15

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六一六七六一三三三三
FAX 〇六一六七六一三三三六
●Eメール ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>

心をひとつに

圧倒的な「民意」を結集しよう！

辺野古新基地建設に必要な埋め立ての賛否を問う県民投票をめぐるのは、「県民投票連絡会」をはじめ、多くの市民が各市で「私たちの投票権を奪わないで！」と立ち上がり、市役所前でのスタンディングや集会にとりくみ、国内ばかりかアメリカでも、「県民投票まで埋め立ての停止を求めろ」「ホワイトハウスへの20万を超える請願署名が行われるなど、大きな動きとなりました。

全県での実施を求める声が高まり、県議会において、賛否の2択から「どちらでもない」を加えた3択とする県民投票条例改正案が全会派一致で可決され、ついに、2月1日には県内41市町村全てでの県民投票の実施が決まりました。

2014年の県知事選挙で翁長さんを当選させ、その後の全県的な選挙全てで「オール沖縄」の候補を勝利させても、安倍政権は、選挙は一つの争点で争われたのではないと言い張って基地建設を強行しています。

一つの争点「辺野古新基地建設に必要な埋め立て」で争う2月24日の県民投票において、「反対」の圧倒的な「民意」を突き付け、言い逃れを許さない市民の力を示そうではありませんか。

この間にも安倍政権は、「土砂を投入するにあたって、あそこのサンゴは移している」「安倍首相」、「地元の市長と知事の同意を得て辺野古への移設を閣議決定した」(菅官房長官)などというウソを平気でつき、私たちが指摘していた大浦湾の軟弱地盤の存在についても、1月30日の安倍首相の国会答弁まで3年間も隠し続け、今度は居直って、さらなる莫大な予算をつぎ込んで砂杭7万7千本を打ち込む地盤改良を5

2019年2月24日の県民投票は、地方自治法に基づいて県民から選挙権者によって選ばれるものに基づいて実施されるものです。今回、法定選挙権以上に上回る92,848名の県民が投票権者となりました。地方自治法に基づく県民投票は、候補者特定が保証されることでも、開票や開票時間などによって決まることがあります。法律に基づいて県民投票において、県民一人ひとりの投票の権利が保障されることにもすべての候補者が同意するよう求めます。

7割以上の県民が県民投票に賛成しています

選挙権者に対するアンケート結果(2019年1月)

朝日新聞	反対 60%	賛成 26%
毎日新聞	反対 56%	賛成 27%
全国に広がる新基地建設NO!の声		

県民投票について

賛成	74%
反対	19%

新基地建設反対県民投票連絡会
〒920-0064 郡山市西2-1-5 西興ビル
TEL.098-988-1987 FAX.098-988-1988

日米合同演習反対!

2・3 あいば野大集会



年もかけて行うという設計変更を沖縄県に申請する考えです。こんな安倍政権をこれ以上続けさせていたら、いつまでたっても普天間基地を閉鎖・撤去させることはできません。県民投票で圧倒的多数の方に「反対」に〇を付けてもらい、「決して辺野古新基地は造れない」と断念させましょう。

2月3日(日)、実弾演習するな! オスプレイくるな! 辺野古新基地つくるな! というスローガンを掲げて、滋賀県高島市の市民会館で集会が行われ、350人が滋賀県内外から集まりました。

1986年以来16回目となる今回の合同演習(フォレストライト02)は、安倍政権による大軍拡政策の下、ますます自衛隊と米軍の一体化が進められる様が、普天間基地から参加する4機のオスプレイに三重県の明野駐屯地を始めて使用させるなどに表れています。

日米合同演習は、日米の「相互連携の強化」として、自衛隊に米軍と一体となって戦闘することを訓練するものであり、「沖縄の負担軽減」を名目に、オスプレイの全国展開を進めるために行われます。

事前にオスプレイの飛行ルートすら知らせることなく行われる合同演習は、高島の市民だけでなく、日本の主権を犯すものであり、断じて許せません。この問題の根底には、他国と比べてあまりにもひどい日米地位協定の存在があります。

昨年7月に全国知事会が、日米地位協定の抜本的見直しなど「米軍基地負担に関する提言」を発表して以来、全国で広まっている自治体から政府への「意見書」採択を求める運動を大いに進めましょう。



当面の予定

2月

- 15日(金)～17日(日)「沖縄県民投票支援現地行動」
(安保破棄中央主催)
- 22日(金) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)
- 23日(土) 大阪革新懇「総会」(13:30～ グリーン会館)
- 24日(日) 沖縄県民投票

3月

- 1日(金) 3・1ピキニデー
- 3日(土) 大阪のうたごえ運動70周年記念レセプション
(18:00～たかつガーデン)
- 6日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00～大阪安保)
- 16日(土) 安保破棄大阪実行委員会 2019年度総会(幹事会)**
(13:30～大阪民医連会議室)
- 22日(金) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)

4月

- 3日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00～大阪安保)
- 23日(火) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

2019年「総会」(幹事会)

日時：2019年3月16日(土)

13:00 受付開始、13:30 開会

場所：大阪民医連会議室 《堺筋本町駅より徒歩一分》

(大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階)

学習：「県民投票後、沖縄・全国でいかにたたかうか」(仮)

講師：安保破棄中央実行委員会へ要請中

2018年の活動を振り返り総括し、2019年の活動をどのように方向づけ作っていくかを議論し決定する大切な総会です。

各団体からのご出席、個人幹事の方々のご出席よろしく
お願いします。

りませんのでお答えしかねます」との言葉を繰り返していました。文民統制に関しても「軍事官僚機構を政治家がコントロールするというもので、私達背広組が制服組に何かものを言うということでは違う」という回答をし、自衛隊の行うことに関して防衛局は何も口を出さないと等しいものでした。オスプレイの飛行ルートに関しても、「安全の確保が大前提」と言いつつ、天候によりころろと変わるのどこを飛ぶかということは分からない、とまるで他人事のような答えでした。

「地元住民のご理解とご協力を得ながら円滑な訓練の実施に努めていきたい」と言いながら、たった一回の住民説明会で質問や意見があまり出されなかったことを受けて「理解を得られたものと考えています」という、住民の不安な思いを理解しようとする態度でした。

防衛局・自衛隊への要請行動



2月4日から滋賀県のあいば野演習場などにおいて、日米合同演習が行われることが、1月17日に発表されました。これを受けて1月31日に近畿中部防衛局と陸上自衛隊中部方面隊に対して、「米海兵隊との実動訓練(フォレストライト02)の中止を求める」要請行動を、近畿の安保破棄実行委員会合同で行いました。

この交渉の中で、防衛局側の回答は誠意に欠けたものであり、どの様な訓練が行われるのかということやその費用、実弾訓練中止などに関して「当局は訓練そのものを実施する機関ではあ

23 宣伝行動

2019年最初の23定例宣伝行動を、1月23日の12時から淀屋橋で行いました。9団体・地域からと個人参加合わせて、16人の参加でした。弁士による訴えと、ビラ配布、西日本からの辺野古への土砂搬出反対などを盛り込んだ「STOP HENOKO署名」に取り組みました。

暖かかったということもあるのですが、わざわざ手袋を外したり、自転車止めたりして署名をしてくれる人がいて、31筆集まりました。

共産党、自治労連、憲法会議、母親大会連絡会、平和委員会から弁士を出してもらい訴えをしました。この間、沖縄の問題に関して、「沖縄に米軍基地が集中しているのはおかしい」と言うことを話しかけてくる人が何人かいるなど、辺野古新基地建設反対が大阪でも広がっていることを感じられる宣伝行動でした。

2月の23定例宣伝行動は、22日金曜日に行います。是非ご参加ください。



「日米地位協定の改定を求める意見書」 採択を求める要請

2月12日に、大阪府議会の全会派へ、大阪府議会にて「日米地位協定の改定を求める意見書」採択を求める要請を行いました。議員には会えず事務局対応でしたが、全国知事会において全会一致で日米地位協定の抜本的見直しを盛り込んだ提言が採択されたこともあり、また、あまりにも屈辱的な地位協定であることから、どの会派でも異を唱えられることはありませんでしたが、大阪府議会の意見書採択は全会一致制ですので、引き続き色々なところから声を上げていくことが必要でしょう。